

事務事業評価票〔市単独補助金〕 平成 27 年度

		担当課	農林水産課				
基本事項	補助金(事業)名	水産振興協議会補助金			整理番号	1458	
	根拠法令等	島原市農林水産業振興事業補助金交付要綱			実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第5章「農漁商観」が融合した活力ある産業をつくる	予算科目	6 款 3 項 2 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規		
		節 第2節 水産業の振興	区分	団体の運営費に対するもの			
事業の概要等	補助金交付の対象(団体名等)	島原市水産振興協議会			実施期間	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 年度から <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 31 年度まで	
	事業の背景及び概要(現状、課題)、または交付団体の活動目的、活動内容など	<p>有明海の特徴を生かした沿岸漁業の振興に必要な調査、研究等を行い、豊かで活力ある漁村の創出を目指し島原沿岸水産業の振興に寄与する。 <島原市の合併後、市内にある二つの漁業協同組合が一堂に会し、視察研修や各漁協ごとの取組みなどについて情報交換を行うなど市内の漁業や加工に関する情報共有及び連携を行い、地域の特性に応じた漁業の推進を図っている。> ■構成 島原漁協・有明漁協の正組合員が会員(一本釣・ノリ(アオサ)・ワカメ(コンブ)・刺網・底曳網・かご・タコ・青壮年部・女性部の各部長、正組合員より監事3名、参与として農林水産課長、県南水産業普及指導センター所長が役員。)</p>					
	目指す成果 (交付対象団体等をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・潮位表の作成及び販売 ・中間育成施設管理業務受託 ヒラメ(平成26年度実績) カサゴ(平成26年度実績) 5,000尾(77.3mm)2箇月後放流→3,111尾(148.2mm) 3,000尾(84.5mm)5箇月後放流→3,478尾(124.9mm) ・昆布品評会の開催(平成26年度) ・産業まつり・がねまつり等での鮮魚、タコめし、ガネ味噌汁等の販売 ・先進地視察研修 ・浜掃除への参加 					
	補助金交付内容等 (積算基礎等)	島原市の水産振興策に関する協議会の開催 水産振興に関する研修会及び講習会の開催 各専門部の組織育成 海浜等清掃活動支援 水産物の地産地消の活動支援、各種イベントへの参加 その他水産振興事業への支援					
事業費等の推移	年度		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		1,000	1,000	900	900	810
	① 団体等事業費(千円)		1,720	2,742	2,150	1,871	2,618
	歳入内訳(千円)	② 会費等	175	171	164	156	152
		前年度繰越金	870	1,567	901	697	764
		市補助金	1,000	1,000	900	900	810
		その他の助成金	242	242	242	242	242
その他雑収入		1,000	663	640	640	650	
次年度繰越金(②-①)		1,567	901	697	764	-	
26年度の当該団体等の事業費の主な内訳(市補助金が充当されていると思われるものから順に記載) (単位:千円)							
項目		金額		項目		金額	
研修費		400					
会議費		67					
事業推進費		201					
活動費補助金		450					
図書印刷製本費ほか		753					
補助金の使途についての特記事項等	補助金の使途については、当協議会の目的である調査等を行うため、研修視察を行っている。 また、各専門部、特にワカメ(コンブ)部会では、コンブの品評会などに取り組み、品質の向上や販売の促進を図っており、併せて鮮魚販売も行うことで、市民へのPR活動も実施している。さらに、女性部への活動費を支出しており、女性部では産業まつり時に販売するたこめしのPR用シール作成や学習会の開催、海の環境をよくするためのEM団子用EM液づくり、有明がねまつり時におけるガネ味噌汁の販売などを行っている。						

